

第192号議案

令和7年度長崎市一般会計補正予算（第4号）

目 次	説明書 記載頁
1 介護給付費（3.1.2）	P 2～7（P 22～23）
2 訓練等給付費（3.1.2）	P 8～13（P 22～23）
3 相談支援等給付費（3.1.2）	P 14～16（P 22～23）
4 補装具給付費（3.1.2）	P 17～19（P 22～23）
5 障害児相談支援給付費（3.1.2）	P 20～21（P 24～25）

福 祉 部

令和7年11月

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22～23	3 民生費	1 社会福祉費	2 障害者福祉費	1-1	介護給付費	千円 60,784

1 概要

サービスの利用が当初の見込み以上に増加したこと等により、予算に不足が生じるため補正するもの。

①生活介護	常時介護が必要な障害者に対し、日中において、入浴、排せつ及び食事等の介助、掃除等の家事援助並びにその他の必要な日常生活上の支援、創作的活動又は生産活動の機会の提供、その他の身体機能又は生活能力の向上のために必要な支援を行う。 【R7年4月利用者 1,078人】
②重度訪問介護	常時介護を要する重度の肢体不自由者、知的・精神障害者に、居宅において入浴、食事などの介護等や外出時における移動支援を総合的に行う。 【R7年4月利用者 42人】
③居宅介護	居宅において、障害者に対し、入浴、排せつ及び食事等の介護、掃除等の家事援助並びに居宅から病院等への通院介助を行う。 【R7年4月利用者 672人】
④同行援護	視覚障害により、移動に著しい困難を有する者に、外出時に同行し移動に必要な情報を提供するとともに、移動の援護、その他の外出する際の必要な援助を行う。 【R7年4月利用者 116人】

2 不足額

①生活介護

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用日数	297,659日	270,753日	▲26,906日
1日あたり平均給付単価	10,844円	12,249円	1,405円
給付額 (①-②)	3,227,815千円	3,316,453千円	▲88,638千円

②重度訪問介護

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用時間数	130,000時間	157,897時間	27,897時間
1時間あたり平均給付単価	4,428円	3,764円	▲664円
給付額 (①-②)	575,640千円	594,325千円	▲18,685千円

③居宅介護

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用時間数	136,723時間	153,314時間	16,591時間
1時間あたり平均給付単価	5,445円	5,169円	▲276円
給付額 (①-②)	744,457千円	792,478千円	▲48,021千円

2 不足額

④同行援護

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用時間数	22,649時間	28,098時間	5,449時間
1時間あたり平均給付単価	3,616円	3,478円	▲138円
給付額 (①-②)	81,899千円	97,725千円	▲15,826千円

3 執行残額

①入所支援

区分	予算現額①	支出見込額②	差引 (①—②)
給付額	1,096,445千円	1,045,476千円	50,969千円

②療養介護(医療費含む)

区分	予算現額①	支出見込額②	差引 (①—②)
給付額	652,681千円	625,131千円	27,550千円

③行動援護

区分	予算現額①	支出見込額②	差引 (①—②)
給付額	42,340千円	41,005千円	1,335千円

④短期入所

区分	予算現額①	支出見込額②	差引 (①—②)
給付額	180,382千円	149,850千円	30,532千円

4 補正額

サービス名	不足額	執行残額	補正額
入所支援	-	50,969千円	60,784千円
療養介護（医療費含む）	-	27,550千円	
生活介護	88,638千円	-	
重度訪問介護	18,685千円	-	
居宅介護	48,021千円	-	
行動援護	-	1,335千円	
短期入所	-	30,532千円	
同行援護	15,826千円	-	

5 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他	一般財源
当初予算	千円 6,602,268	千円 3,301,134	千円 1,650,567	千円 —	千円 —	千円 1,650,567
11月補正	60,784	30,392	15,196	—	—	15,196
補正後	6,663,052	3,331,526	1,665,763	—	—	1,665,763

※1 国庫負担率：事業費の1/2（障害者自立支援給付費国庫負担金）

重度訪問介護、居宅介護のみ負担上限あり

※2 県費負担率：事業費の1/4（長崎県障害者自立支援給付費県費負担金）

重度訪問介護、居宅介護のみ負担上限あり

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22～23	3 民生費	1 社会福祉費	2 障害者福祉費	1-2	訓練等給付費	千円 371,607

1 概要

サービスの利用が当初の見込み以上に増加したこと及び給付費単価が当初の見込みを上回ったことで予算に不足が生じるため補正するもの。

①就労定着支援

就労の継続を図るために、障害者を雇用した事業所、障害福祉サービス事業者、医療機関等との連絡調整、障害者が雇用されることに伴い生じる日常生活又は社会生活を営む上での各般の問題に関する相談、指導及び助言その他必要な支援を行う。

【R7年4月利用者 11人】

②就労継続支援

一般企業等に就労することが困難な障害者に、雇用契約等に基づき、就労や生産活動等の機会を提供することにより、就労に必要な知識及び能力の向上を図るための訓練等を行う。

- ・ A型：雇atype（最低賃金が適用される）
- ・ B型：非雇atype（最低賃金が適用されない）

【A型：R7年4月利用者 393人／B型：R7年4月利用者 1,509人】

③機能訓練	理学療法、作業療法その他必要なりハビリテーション、生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行う。 【Ｒ７年４月利用者 １４人】
④生活訓練	入浴、排泄及び食事等に関する自立した日常生活を行うために必要な訓練、生活等に関する相談及び助言その他必要な支援を行う。 【Ｒ７年４月利用者 ５１人】
⑤共同生活援助	主として夜間に、共同生活住居で相談、入浴、食事などの介護やその他日常生活上の援助などを行う。 【Ｒ７年４月利用者 ６５４人】

2 不足額

①就労定着支援

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用日数	88日	230日	142日
1日当たり平均給付単価	28,017円	29,694円	▲1,677円
給付額（①－②）	2,466千円	6,842千円	▲4,376千円

2 不足額

②就労継続支援A型

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用日数	103,328日	99,653日	▲3,675日
1日当たり平均給付単価	11,541円	13,264円	1,723円
給付額 (①-②)	1,192,509千円	1,321,797千円	▲129,288千円

就労継続支援B型

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用日数	346,172日	322,057日	▲24,115日
1日当たり平均給付単価	7,814円	8,576円	762円
給付額 (①-②)	2,704,989千円	2,761,957千円	▲56,968千円

③機能訓練

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用日数	1,715日	1,411日	▲304日
1日当たり平均給付単価	5,708円	7,989円	2,281円
給付額 (①-②)	9,790千円	11,271千円	▲1,481千円

2 不足額

④生活訓練

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用日数	8,308日	13,722日	5,414日
1日当たり平均給付単価	7,290円	10,716円	3,426円
給付額 (①-②)	60,566千円	147,045千円	▲86,479千円

⑤共同生活援助

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用日数	236,209日	235,992日	▲217日
1日当たり平均給付単価	6,269円	6,801円	532円
給付額 (①-②)	1,480,795千円	1,604,980千円	▲124,185千円

3 執行残額

①就労移行支援

区分	予算現額①	支出見込額②	差引 (①-②)
給付額	138,313千円	127,640千円	10,673千円

3 執行残額

②宿泊型自立訓練

区分	予算現額①	支出見込額②	差引（①—②）
給付額	71,387千円	50,890千円	20,497千円

4 補正額

サービス名	不足額	執行残額	補正額
就労定着支援	4,376千円	—	371,607千円
就労移行支援	—	10,673千円	
就労継続支援A型	129,288千円	—	
就労継続支援B型	56,968千円	—	
機能訓練	1,481千円	—	
生活訓練	86,479千円	—	
宿泊型自立訓練	—	20,497千円	
共同生活援助	124,185千円	—	

5 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他	一般財源
当初予算	千円 5,682,231	千円 2,841,115	千円 1,420,557	千円 —	千円 —	千円 1,420,559
11月補正	371,607	185,803	92,901	—	—	92,903
補正後	6,053,838	3,026,918	1,513,458	—	—	1,513,462

※1 国庫負担率：事業費の1/2（障害者自立支援給付費国庫負担金）

※2 県費負担率：事業費の1/4（長崎県障害者自立支援給付費県費負担金）

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22～23	3 民生費	1 社会福祉費	2 障害者福祉費	1-3	相談支援等給付費	千円 18,832

1 概要

給付費単価が当初の見込みを上回ったことで予算に不足が生じるため補正するもの。

①計画相談支援	○サービス利用支援 サービス等利用計画案の作成、サービス事業者等との連絡調整等。
	○継続サービス利用支援 一定期間ごとに、サービス等の利用状況の検証を行い、計画の見直しを行う（モニタリング）。 サービス事業者等との連絡調整、支給決定又は支給決定の変更に係る申請の勧奨。
【R7年4月利用者 1,159人】	

2 不足額

①計画相談支援

区分	予算現額①	支出見込額②	差引
延利用者数	13,599人	13,480人	▲119人
1人当たり平均給付単価	16,786円	18,435円	1,649円
給付額（①-②）	228,273千円	248,507千円	▲20,234千円

3 執行残額

①地域相談支援

区分	予算現額①	支出見込額②	差引 (①—②)
給付額	3,217千円	1,815千円	1,402千円

4 補正額

サービス名	不足額	執行残額	補正額
計画相談支援	20,234千円	-	18,832千円
地域相談支援	-	1,402千円	

5 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他	一般財源
当初予算	千円 231,490	千円 115,745	千円 57,872	千円 —	千円 —	千円 57,873
11月補正	18,832	9,416	4,708	—	—	4,708
補正後	250,322	125,161	62,580	—	—	62,581

※1 国庫負担率：事業費の 1 / 2（障害者自立支援給付費国庫負担金）

※2 県費負担率：事業費の 1 / 4（長崎県障害者自立支援給付費県費負担金）

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
22～23	3 民生費	1 社会福祉費	2 障害者福祉費	1-4	補装具給付費	千円 4,848

1 事業目的

障害者総合支援法に基づき、障害者等の身体機能を補完・代替する補装具を支給するもの。
【補装具の例】車椅子、電動車椅子、義手・義足、装具、補聴器 等

2 補正内容

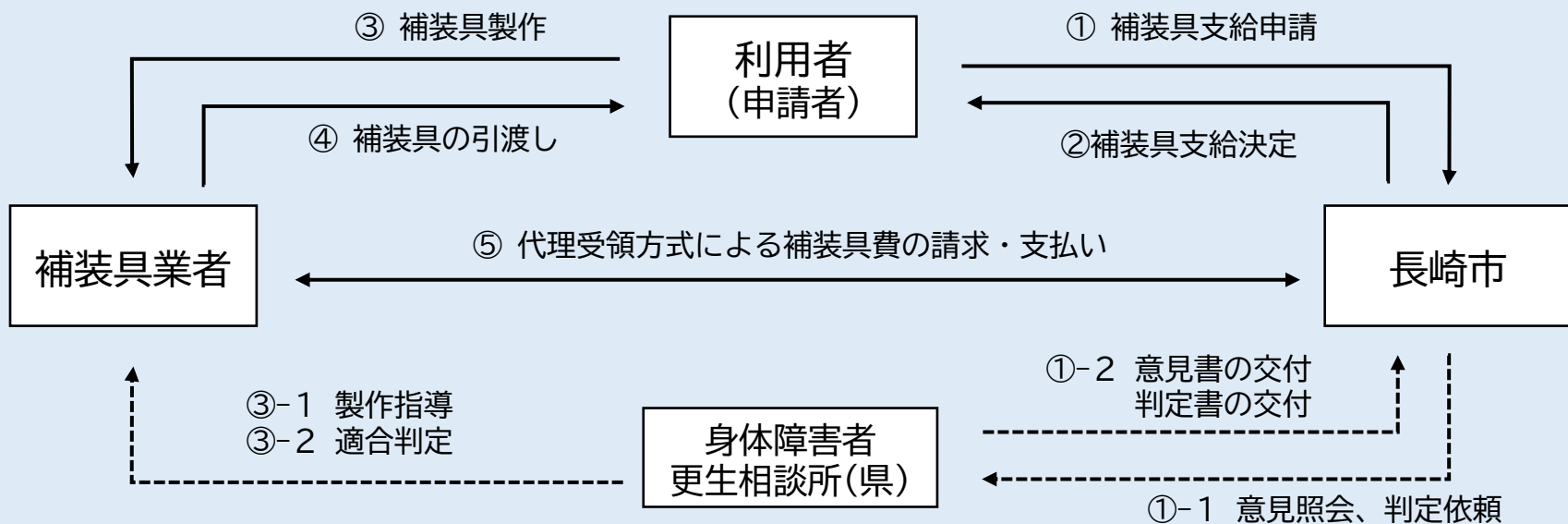
当初見込みより申請件数及び給付単価が増加し、予算が不足する見込みであるため、増額補正するもの。

用具の種類	当初予算 ①		支出見込 ②		補正額 ②－①	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
上肢・下肢・体幹装具	228	38,797	263	32,188	35	▲6,609
車椅子・電動車椅子	191	20,856	205	35,784	14	14,928
補聴器	486	30,804	423	24,177	▲63	▲6,627
視覚障害者用具装具 (眼鏡、義眼、白杖 等)	83	1,775	103	1,657	20	▲118
座位保持椅子、姿勢保持装置	57	15,529	90	20,421	33	4,892
意志伝達装置	8	3,345	8	4,054	0	709
その他補装具	40	3,983	32	1,656	▲8	▲2,327
計	1,093	115,089	1,124	119,937	31	4,848

3 補装具(参考例)

車椅子普通型	電動車椅子	骨格構造義手	殻構造大腿義足
			
短下肢装具	長下肢装具	姿勢保持装置	視覚障害者用杖（携帯型）
			
義眼	眼鏡（弱視用：掛眼鏡式）	補聴器（耳掛け型）	意思伝達装置
			

4 補装具申請の流れ



5 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他	一般財源
当初予算	千円 115,089	千円 57,482	千円 28,741	千円 —	千円 —	千円 28,866
11月補正	4,848	2,424	1,212	—	—	1,212
補正後	119,937	59,906	29,953	—	—	30,078

※1 国庫負担率：事業費の1/2（障害者自立支援給付費国庫負担金）

※2 県費負担率：事業費の1/4（長崎県障害者自立支援給付費県費負担金）

予 算 説 明 書					事 業 名	補正額
ページ	款	項	目	番号		
24～25	3 民生費	1 社会福祉費	2 障害者福祉費	2-1	障害児相談支援給付費	千円 47,268

1 概要

サービスの利用が当初の見込み以上に増加したこと及び給付費単価が当初の見込みを上回ったことで予算に不足が生じるため補正するもの。

①障害児相談支援

○障害児支援利用援助

障害児支援利用計画案の作成、サービス事業者等との連絡調整等。

○継続障害児支援利用援助

一定期間ごとに、サービス等の利用状況の検証を行い、計画の見直しを行う（モニタリング）。

サービス事業者等との連絡調整、支給決定又は支給決定の変更に係る申請の勧奨。

【R7年4月利用者 779人】

2 補正額

区分	予算現額①	支出見込額②	差引（②-①）
延利用者数	6,103人	8,195人	2,092人
1人当たり平均給付単価	17,240円	18,606円	1,366円
給付額	105,216千円	152,484千円	47,268千円

3 財源内訳

区 分	事 業 費	財 源 内 訳				
		国庫支出金※1	県支出金※2	地方債	その他	一般財源
当初予算	千円 105,216	千円 52,608	千円 26,304	千円 —	千円 —	千円 26,304
11月補正	47,268	23,634	11,817	—	—	11,817
補正後	152,484	76,242	38,121	—	—	38,121

※1 国庫負担率：事業費の1/2（障害者自立支援給付費国庫負担金）

※2 県費負担率：事業費の1/4（長崎県障害者自立支援給付費県費負担金）